



ごみ問題の解決を願ってアクションゲームを制作した岡田さん(長岡京市役所)

プログラミングで全国へ

長岡第三小4年岡田さん 府大会最優秀賞

「ごみ問題、楽しく知って」

本年度の全国選抜小学生プログラミング大会の府大会で、長岡京市の児童が最優秀賞に輝いた。全国大会での作品発表に向け、練習に励んでいる。

長岡第三小4年の岡田龍空さん(10)。3年生の時にプログラミングに関心を持ち、その夏から本格的に取り組んでいる。

受賞作品は3作目のゲームで、敵の攻撃を避けてごみを回収し、各ステージのボスを倒していく。「前から環境問題に興味があったので、テーマにしてきた」と話す。

大会は京都新聞などでつくる全国新聞社事業協議会の主催。各地を勝ち抜いた児童が競う全国大会は3月3日、東京で開かれる。

岡田さんは「ごみ問題を楽しく知ってほしくて作った。本番では、ゲームに込めた考えをしっかりと発表した」と張り切る。

(菅田恭彦)